

基本目標と具体的な施策等

▶基本目標1 地域における安定したしごとの創出

1 基本的な考え方（現状と課題）

○国内市場の縮小等により企業の事業環境が厳しい中で、地域での安定したしごを創出するためには、新たな企業の誘致のみならず、既存企業の経営維持・拡大が重要であり、同時に、地元企業等が求める若者の人材確保が課題となっています。

また、本地域は、風力を中心として、自然や資源を活かした発電のポテンシャルが高いことから、地域主体による再生可能エネルギー事業を推進し、地産地消を進めることで、関連産業の創出も見込める状況にあるほか、将来のエネルギーとして注目されている水素エネルギーについても、JAXAの能代ロケット実験場において研究が進められています。

○本市農業の営農体系は稲作を中心にしながらも、野菜等との複合化が図られてきましたが、米価の下落基調から、なお一層の生産性向上や付加価値を高めるための取り組みが求められています。野菜では、ネギをはじめとした戦略作物の栽培面積拡大が図られてきていますが、今後、これらの農産物のブランド確立や新たな付加価値の創造に取り組む必要があります。また、農業者の高齢化が進む中で、担い手育成や新規就農の促進が求められています。

○木材供給に対する外材依存が高いことから地場産材の利用が進まず、秋田スギの価格低迷が続いており、造林から保育、伐採までの林業経営は採算面で難しい状況にあります。本市は伐期を迎えている秋田スギが多いことから、この利用に向けた取り組みが急務となっています。本市には、蓄積された加工技術があるほか、秋田県立大学木材高度加工研究所が立地していることから、引き続き産学官連携の取り組みを進めることで、木材産業の振興に向け、その可能性が高い地域であると考えられます。

○交流人口の拡大は、飲食や宿泊、地元産品販売を中心に、地域経済への波及効果を生み出し、ひいては雇用確保へつながります。人口減少やそれに伴う経済縮小が見られる中で、交流人口の拡大がもたらす効果は大きいと考えられます。

本市には、旧料亭金勇やきみまち阪、風の松原等の地域資源のほか、港まつりや能代の花火、おなごりフェスティバル、きみまちの里フェスティバル、天空の不夜城等の観光客が多く訪れるイベント、伝統行事があります。こうした地域資源を活用した交流人口の拡大が求められます。

2 基本的方向

○新たな企業の誘致及び既存企業の経営維持・拡大のための支援を充実させるとともに、起業や商品開発への助成等を通じて、しごとの創出や雇用の拡大を目指すほか、関係機関と連携し、企業等が求める人材の確保に努めます。

また、地域主体による、風力等の再生可能エネルギーを効率的に活用することにより、エネルギーで活力をつくり、エネルギーを自給できる『エネルギーのまち』を目指すとともに、再生可能エネルギー関連産業の創出を図るほか、将来的な水素エネルギー活用の可能性を探ります。

○稲作の一層の生産性向上と、付加価値を高めるための取り組み、戦略作物等の野菜との複合経営を促進します。また、農産物のブランド確立や新たな付加価値の創造に取り組むほか、6次化産業の確立に向けた検討を行ないます。農業者の確保のためには、認定農業者や農業法人を中心に農業の担い手育成に努めるとともに、新規就農者等への支援を行ないます。

○林業と木材産業が生産から販売まで一体的に取り組む体制づくりや、多様なニーズに対応できる林業・木材産業の確立に努めます。このため、能代市林業木材産業振興検討委員会を中心に総合的な検討を行うほか、木材高度加工研究所等との連携により、能代市独自の木製品等の開発やC L T等の新たな技術の研究に取り組みながら、公共建築物等への木材利用を進めます。また、森林の適正管理のための林道や作業道の整備を進め、林業生産の効率化による安定した林業経営を目指します。

○交流人口の拡大に向け、シティセールスの充実を図りながら、地域の情報や案内を様々なPR媒体で発信するほか、広域的な連携による情報発信に努めます。また、様々な地域資源を活用するとともに、それらをさらに磨き上げて、価値を高めるほか、各種イベントや伝統行事等への支援を行なうなど交流人口の拡大を図り、経済への波及効果を含めて、地域の活力を高め、雇用の維持・拡大につなげます。

3 数値目標

新規就職者数： ●人

4 具体的な施策と重要業績評価指標

(1) 地域産業の活性化の推進

(ア) 新エネルギー等関連産業の創出

① 関連産業の創出と育成

風力やバイオマス、太陽光等を活用した、地域主体による再生可能エネルギーの発電施設のさらなる導入を図ります。

また、再生可能エネルギーを中心としたエネルギー関連産業の施設整備や整備後のメンテナンス等の関連分野への地元企業の参入を促進し、本市におけるエネルギー関連産業の振興を図るほか、新たな産業創出へ向けた研究を進めるとともに、エネルギー関連分野へ携わる人材を育成するため、教育機関や研究機関との連携を図ります。

[重要業績評価指標KPI]

再生可能エネルギー自給率 H24:2.7%→〇〇%

- [主な事業] 再生可能エネルギー導入促進事業
関連分野の人材養成支援（検討中）
エネルギー関連産業創出可能性調査事業（検討中）

② 水素エネルギーの研究

次世代のエネルギーと言われる水素エネルギーについて、エネルギーの先進都市として、JAXA を中心とした関係機関等の研究を側面からサポートするとともに、活用の可能性を探り、将来的に市内企業が参入できるような取り組みを進めます。

[重要業績評価指標KPI] 戦略期間内での研究会等の設置 H26:0件→〇〇件

- [主な事業] 水素エネルギー等の研究への支援（検討中）
水素エネルギー等に関するシンポジウムの開催等

(イ)企業誘致及び企業活動への支援等

①企業誘致の推進

交通アクセスの充実など有利な立地条件や自然環境に恵まれていることなどの地域特性に加え、各種の優遇措置等についての的確な情報発信に努め、トップセールスを実施しながら、積極的に企業誘致を進めます。

また、誘致済企業のフォローアップを強化し、企業活動がしやすい環境づくりを進めます。

[重要業績評価指標KPI]

新設・増設企業数 H26:15件→〇〇件

有効求人倍率 H26:0.91倍→〇〇倍

県外企業等訪問件数 H25:176件→〇〇件

[主な事業] 企業開発事業

能代工業団地等管理運営事業

②能代港の利活用促進

リサイクルや再生可能エネルギーを含めた産業の創出や関連企業の立地を図るとともに、貨物量の増加や客船の誘致につながる取り組みを通じ、能代港の整備や利用を促進します。

[重要業績評価指標KPI]

能代港の取扱い貨物量（能代火力発電所専用栈橋を除く）

H25:449,966 t → 〇〇 t

能代港の外港・内港商船入港船舶数（能代火力発電所専用栈橋を除く）

H25:255 隻 → 〇〇 隻

貨物量 H26:450 千 t → 〇〇 千 t

[主な事業] 港湾利活用地域振興基金事業

能代港利活用促進事業

エネルギー等にかかわる利活用整備促進事業（検討中）

(ウ)商工業の振興

①既存企業の維持拡大

企業の広報活動や企業間取引に役立てられるよう、市内企業の情報のデータベース化、商工団体や地元企業と進出企業との情報交換等により、地域の産業や企業のPRに努めます。

また、企業経営を支える融資斡旋などの支援を通じ、企業の活性化に努めます。

[重要業績評価指標KPI]

融資の資金使途が設備であるものの件数 H26:48件→〇〇件

従業者が4人以上の事業所数 H24:133事業所→〇〇事業所

[主な事業] 起業・新商品開発等支援事業[先行型の一部]

企業開発事業（再掲）

中小企業融資斡旋等事業

地域総合整備資金貸付事業

伝統的工芸品等後継者育成支援事業

商工会議所等補助金（事業承継業務に対する支援等）

②まちのにぎわいの創出

個々の商店の磨き上げの取り組みや街なかの賑わい創出など、商店街の活性化につながる取り組みを支援します。

[重要業績評価指標KPI]

地元商店街や近所の商店を利用することを心がけている市民の割合

H27 39.4%→〇〇%

空き店舗の利活用件数 H26 2件→〇〇件

[主な事業] 中心市街地活性化推進事業

商店街活性化事業補助金

恋文商店街推進事業

空き店舗流動化支援補助事業

③起業等の促進

市内において起業、新商品の開発、新規分野に参入しようとする事業者等を支援するとともに、さまざまな団体が実施している各種支援の周知や起業意欲のある人への情報の発信・収集を推進します。

また、若者の雇用の創出につなげるため、起業家育成等、起業しやすい環境を整えるとともに、起業後のフォローアップ体制の強化に努めます。

[重要業績評価指標KPI]

新設・増設企業数 H26:15件→〇〇件

創業者数 H26:1件→〇〇件

[主な事業] 起業・新商品開発等支援事業（起業支援事業費補助金）[先行型の一部]
創業等サポート事業[先行型の一部]

④人材の確保・就職支援

若い人が定住できるよう、産業創出や産業振興に重点的に取り組みながら、ハローワーク、県、地元企業及び関係団体等と連携し、雇用の場の確保に努めます。

また、より多くの若者が地域の企業等に就職できるよう、企業等の魅力を体感できる機会を増やす等の取り組みを通じ、人材の確保につなげます。

[重要業績評価指標KPI]

有効求人倍率 H26:0.91倍→県平均を上回る

新規学校卒業者就職率(能代山本)H26:41.5%→〇〇%

デュアルシステム受入企業数 H25:21社→〇〇社

[主な事業] 就業資格取得支援事業
デュアルシステム事業
地域雇用総合対策事業

(工)農業の振興

①野菜ランド能代の推進

ネギをはじめとした野菜の戦略作物5品目の栽培面積の拡大、生産出荷額の増加を図る必要があるため、安定した農業経営に資するよう、農地の整備やかんがい施設の改善等を進め、農業生産基盤の強化を図ります。また、園芸団地の形成促進の検討や、能代ブランドとして一層付加価値を高められるよう、大ロット化、高品質化のための生産体制の強化を促進します。

[重要業績評価指標KPI]

戦略作物5品目の生産出荷額 H25:1,242百万円→〇〇百万円

[主な事業] 園芸メガ団地育成事業
畑作技術振興事業
畑作拡大総合支援事業
農作物販路拡大対策事業

②水田農業の再構築

本市農業の営農体系は稲作を中心にしながらも、野菜等との複合化が図られてきました。現在、米価は下落基調にあるほか、国の減反政策の転換等の状況を注視する必要がある状況下であり、稲作のなお一層の生産性向上と付加価値を高めるための取り組みを進めます。

[重要業績評価指標KPI]

30a以上区画のほ場整備率 H27:42.8%→〇〇%

一等米比率 H24:93.0%→〇〇%

食味値 H26:71.1→〇〇

[主な事業] 売れる米づくり支援事業
カントリーエレベーター利用向上対策補助事業
県営ほ場整備事業（県事業負担金）

③農産物の高付加価値化と流通販売の促進

農産物ブランドの確立や新たな付加価値の創造に向けた取り組みを進めます。

また、安全・安心で良質なものを求める消費者ニーズ把握のため、情報収集に努めるとともに、農産物販路拡大のため、トップセールスを中心に様々な機会をつくってPRを図ります。

また、地元農産物の消費拡大を目指し、6次産業化の可能性を様々な角度から検討し、モデル確立のため取り組みを進めるとともに、地産地消を含めて、飲食店等との連携や、健康・観光の視点を取り入れた取り組みについての可能性を探ります。

【重要業績評価指標KPI】

地元産の農産物は安全でおいしいと思う市民の割合 H27:84.4%→〇〇%

学校給食で使用している野菜類のうち秋田県産の割合 H26:49.2%→〇〇%

地産地消協力店件数 H26:41件→〇〇件

農産物直売所来客数 H26:233,709人→〇〇人

農産物直売所の売上げ H26:219,390千円→〇〇千円

食育という言葉も意味も知っている人の割合 H27:54.1%→〇〇%

【主な事業】 「売り込め能代の食と農」推進事業[先行型]

①6次産業化推進事業（人材育成支援、モデル、
農産物加工品起業支援等）

②檜山茶増産支援事業

③野菜ランドのしろ売り込み強化事業

④地産地消で地域経済活性化事業

⑤新規作物共同研究事業

農産物販路拡大対策事業（再掲）

食育推進事業

農産物直売所等活性化事業（検討中）

④担い手育成と新規就農者の促進

認定農業者や農業法人を中心に、農業の担い手の育成に努めるとともに、農業経営の生産性を高めるため、これら担い手に農地の集積を図り、複合経営化を促進します。

[重要業績評価指標KPI]

担い手農地集積率（個人・集団を含む） H25:54.9%→〇〇%

農業経営法人設立数 H27:19 法人→〇〇法人

新規就農者数 H26:11 人→〇〇人

[主な事業] 農業経営法人化等支援事業（検討中）

地元で働こう新規就農支援事業[先行型]

能代市農業夢プラン事業

新規就農者等研修支援事業

青年就農給付金事業

(才)林業、木材産業の振興

①木の良さを生かし多様なニーズに対応した林業・木材産業の確立

林業と木材産業が生産から販売まで、一体的に取り組む体制づくりを推進します。また、秋田スギ活用のための新たな動きに対応し、地場産材の需要拡大につなげていくとともに、競争力のある企業の育成を図ります。

また、能代市林業木材産業振興検討委員会を中心に、林業・木材についての総合的な検討を行うほか、木材高度加工研究所等との連携により、能代市独自の木製品等の開発や、CLT等の新たな技術の研究に取り組みながら、公共建築物等への木材利用を進めます。

[重要業績評価指標KPI]

木材製品出荷額 H25:14,013 百万円→〇〇百万円

[主な事業] 地場産材PR支援事業

木製品研究開発支援事業

秋田県木材加工推進機構支援事業

②林業生産の効率化

森林を適正に管理できるよう林道や作業道の整備を進め、林業生産の効率化による安定した林業経営の確立に努めます。

【重要業績評価指標KPI】

林内道路密度 H25:19.2m/ha→〇〇m/ha

皆伐後の植栽面積 H26:4.52ha→〇〇ha

秋田林業大学校本市出身研修生 H26:一人→〇〇人

- 【主な事業】 森林整備事業
再造林促進事業
民有林整備促進事業
林業専用道整備事業
林業担い手支援事業
森林境界明確化事業
林道補修事業

③地場産材の消費拡大

地産地消の拡大により、地場産材の消費拡大を図ります。また、森林資源を活用した地域の取り組み等の支援を検討します。

【重要業績評価指標KPI】

木のぬくもりや木のまちとしての雰囲気があると思う市民の割合

H27:31.9→〇〇%

木都のしろ木の市来場者数 H26:1,328人→〇〇人

- 【主な事業】 「秋田スギのぬもり」木のまちづくり推進事業
地域森林資源活用モデル支援事業（検討中）
能代街なか商店街景観改修補助事業

(2) 地域資源の活用を中心とした交流人口の拡大

(ア) 市内外へ魅力のPR

観光スポットやイベント予定、郷土料理や特産品、交通アクセスや宿泊等、地域の情報や案内を、伝わりやすいよう工夫し、様々なPR媒体や手法により発信します。

また、能代山本地域や白神山地周辺地域、五能線沿線等の広域的連携による情報受発信の充実に努めます。

[重要業績評価指標KPI]

能代市の観光・物産・宿泊・交通情報に関するホームページへのアクセス数
H26:10,273件→〇〇件

[主な事業] 地域資源を活用した地域プロモーション推進事業[先行型]

ふるさと納税寄附拡大事業

シティセールス地域の魅力発信事業（検討中）

観光宣伝事業

滞在型観光推進事業

五能線沿線観光等推進事業

地域おこし協力隊事業

(イ) 地域資源の磨き上げと掘り起こし及びその利活用

旧料亭金勇や風の松原、きみまち阪や道の駅ふたつ、地元食材による郷土料理等、多様な地域資源の磨き上げと活用を図るとともに、新たな地域資源の発掘を行ないます。

また、来訪者の多様なニーズにこたえられるよう、地域資源を連携させて、相乗効果等によりアピール度や魅力を高めるよう取り組みます。

[重要業績評価指標KPI]

豊かな自然や特色ある郷土料理など、他に誇れる観光資源があると思う市民の割合
H27:40.8%→〇〇%

米代川やきみまち阪、風の松原などの豊かな自然は、他に誇れると思う市民の割合
H27:64.7%→〇〇%

[主な事業] 旧料亭金勇保存活用事業

道の駅ふたつ整備事業

風の松原保存活用事業
きみまち阪公園等管理事業
地域資源を活用した地域活性化事業（検討中）
行事観光支援事業

(ウ)交流が広がるイベントや行事への支援

中心市街地を含め、地域への誘客につなげるため、観光客が多く訪れるイベント、伝統行事である能代役七タやおなごりフェスティバル、天空の不夜城、港まつり能代の花火、きみまちの里フェスティバル、きみまち阪の桜・紅葉まつり等への支援を行ないます。

[重要業績評価指標KPI]

能代市の観光・物産・宿泊・交通情報に関するホームページへのアクセス数
H26:10,273 件→〇〇件

[主な事業] 本因坊戦開催事業
大型七夕推進事業
まちづくり事業等への補助

▶基本目標2 少子化対策

1 基本的な考え方（現状と課題）

○年々出生数は減少しており、本市では、昭和45年に1000人程度の出生数が平成2年には500人前後となり、25年では269人となっています。また、20～49歳の未婚者の割合は、平成2年頃には21.4%であったものが、22年には35.8%まで上昇し、おおよそ3人に1人が未婚となっています。

○これは、若者の意識や社会構造の変化、ライフスタイルの多様化等が要因と考えられますが、未婚化、晩婚化による出生数の減少を解消するために、結婚や出産、子育てに関する希望を叶え、子どもを産み、育てやすい環境をつくることが課題となっています。

2 基本的方向

○結婚・妊娠・出産・子育ての各ステージにおいて、多様なニーズに応じてそれぞれに必要な施策を充実させるとともに、一連の施策として、切れ目のない支援を行います。また、保健、医療、保育等の経済的な負担について、個人の負担とその軽減の範囲について、より適切でバランスの取れた軽減策を実施します。

○レベルの高い学力を維持できるよう教育環境の充実を図るとともに、すべての子どもの心身の成長を育むため、一人ひとりの教育ニーズに応じた学習の機会の提供やふるさとへの愛着が育まれるふるさと教育等、きめ細やかな教育を推進します。

3 数値目標

合計特殊出生率●、20～49歳の未婚者の割合●%、
子どもを産み、育てやすさの満足度●%

4 具体的な施策と重要業績評価指標

(1) 脱少子化に向けた市民意識の醸成

(ア) 結婚、出産、子育てに関する意識の醸成

① 少子化対策の総合的な取り組みの推進

少子化に対する危機意識を市民、団体等が共有し、秋田県の取り組みと連動しながら、脱少子化に向けた総合的な取り組みを行います。

[重要業績評価指標KPI]

検討中

[主な事業] 少子化対策市民周知事業（検討中）

② 次世代の意識の醸成

次代の親となる世代に父性・母性の醸成がなされるよう、子育ての楽しさ等の理解・促進が図れるよう取り組みます。

[重要業績評価指標KPI]

中・高校生の参加割合

[主な事業] 家庭教育支援事業

(2) 結婚・妊娠・出産・子育ての総合的な支援の充実・強化

(ア) 出会いの機会の提供

あきた結婚支援センターの機能を活かし全県規模で取り組み、秋田県の施策を利活用するとともに、本市の団体等による出会いの機会創出を促進し、結婚を希望する男女に出会いの機会の提供を図ります。

[重要業績評価指標KPI]

あきた結婚支援センター入会者数 H26:119人→〇〇人/年

[主な事業] 出会い創出支援事業[先行型]

① あきた結婚支援センター会員登録料助成事業

② 出会い創出支援団体への補助事業

(イ)安心して出産・子育てできる環境の充実

①不妊治療に対する支援の推進

不妊治療を受けている夫婦の経済的、精神的負担を軽減するため、特定不妊治療や一般不妊治療に要した費用に対して支援を行います。

[重要業績評価指標KPI]

検討中

[主な事業] 不妊治療費助成事業

②子どもを産み育てるサポート体制の充実

妊娠期から子育て期までを切れ目なく支援し、それぞれの段階での安心感が高まるよう、サポート体制の充実を図ります。

[重要業績評価指標KPI]

乳児健診受診率(2歳児歯科含む) H25:96.2%→〇〇%

子育てを楽しんでいると感じることの方が多市民の割合 H27:49.0→〇〇%

妊婦一般健康診査受診率 H25:93.7%→〇〇%

[主な事業] 母子保健事業

未熟児養育医療給付事業

乳幼児健康診査事業

めん choco 親子応援事業[先行型]

めん choco 子育て応援事業

子育て支援センター事業

ファミリーサポートセンター事業

子育て世代包括支援センター事業（検討中）

つどいの広場・一時預かり事業

一時保育事業

(ウ)子育て世帯の経済的負担の軽減

子育てしやすい環境を整備するため、医療、保育、教育等について、経済的な負担軽減を図ります。

[重要業績評価指標KPI]

子どもが地区でのびのびと育っていると思う市民の割合 H27:52.4%→〇〇%

子育てを地域で支えあう雰囲気があると思う市民の割合 H27:26.0%→〇〇%

[主な事業] 福祉医療費

予防接種事業

保育料の軽減（検討中）

給食費補助金（幼稚園）（検討中）

ひとり親家庭児童保育援助事業

遠距離通学費補助事業

奨学金貸付事業

ふるさと人材育成・定住促進奨学金貸付事業

(エ)子育てと仕事の両立支援

①安心して預けられる保育環境の整備

子育てと仕事が両立できるように、幼稚園や保育所、認定こども園等の充実を図り、子育て支援や幼児教育に取り組みます。

[重要業績評価指標KPI]

待機児童数 H26:〇人→〇人

[主な事業] 法人保育所等特別保育事業費補助金

病児・病後児保育事業

留守家庭児童会運営事業

留守家庭児童会利用料金の軽減（検討中）

放課後子ども教室推進事業

二ツ井児童館運営事業

②企業等による子育て支援の促進

安心して子育てと仕事が両立できるように、企業による子育てしやすい職場づくりを支援します。

[重要業績評価指標KPI]

検討中

[主な事業] 県と連携した子育てしやすい職場づくりの支援（検討中）

(オ)子育てを地域で支援する仕組みづくり

子育てに対する悩みや課題を地域全体で支援する取り組みを推進します。

[重要業績評価指標KPI]

子育てを地域で支えあう雰囲気があると思う市民の割合 H27:26%→〇〇%

[主な事業] ファミリーサポートセンター事業（再掲）
地域子育て応援隊！実施モデル地区支援事業
保育所地域活動事業
認定こども園等地域活動事業費補助金

(3)次代を担う子供の成長支援

(ア)きめ細かな教育の推進

①ふるさと教育の推進

児童・生徒がふるさとを理解し、ふるさとへの愛着が育まれるよう、ふるさと教育を一層推進します。

[重要業績評価指標KPI]

検討中

[主な事業] 特色ある教育活動推進事業
ふるさと教育事業
能代っ子中学生ふるさと会議運営事業
のしろDEマナブ事業

②多様なニーズに対応した教育の推進

児童・生徒の一人ひとりの状況や教育ニーズに応じた、適切な指導や学習機会等の提供を図ります。

[重要業績評価指標KPI]

子どもが地区でのびのびと育っていると思う市民の割合 H27:52.4%→〇〇%

[主な事業] 特別支援教育支援員設置事業

特別支援教育事業

学校生活サポート事業

心の教室相談員設置事業

教育相談員設置事業

▶基本目標3 移住・定住対策

1 基本的な考え方（現状と課題）

○首都圏等を離れ、地方の暮らしを希望する人が、ワンストップで本市の状況等を把握できるような、きめ細かい対応が必要です。

○本市の年齢層ごとの人口の推移をみると、高校、大学卒業後、進学や就職のため一旦市外へ出ると、戻る人は少ない傾向にあり、これが、社会減の大きな要因となっていることから、市内定着やUターン就職等は大きな課題となっています。

○本市出身の県外在住者で、再び本市への定住を希望する人も少なくないことから、そうした人へのアプローチも必要です。

2 基本的方向

○首都圏等からの移住希望者がワンストップで必要関係事項が把握できる体制を整えるとともに、大学等（短大、専門学校）卒業時の若者が、Uターンしやすいような体制、環境の整備を図ります。また、ふるさと会等を通じて、本市出身の県外在住者で、本市への移住を希望する人へのアプローチを行ないます。

○児童、生徒が、地域の良さを感じ取り、ふるさとに愛着を持つことにより、ずっと地元で暮らしていきたいとの思いが育まれるよう取り組みます。

○特色あるまちづくりを推進することで、まちの魅力を高めるとともに、安心安全な地域の維持、PRにより、地元で暮らしていきたいという意識（地元への愛着）を多くの市民にもってもらうよう取り組みます。

3 数値目標

市からの転出：●人減少、転入：●人増加（2014年比）

4 具体的な施策と重要業績評価指標

(1) 首都圏等からの移住の促進

(ア) 地域の情報発信と受け入れ体制の整備

① 移住情報の発信

秋田県の情報発信事業や移住相談窓口も活用しながら、本市の移住に係る情報を総合的に集約し、市のHP等に掲載し周知を図るほか、首都圏等での移住セミナーや相談会等を活用して情報の発信と収集を行ないます。

[重要業績評価指標KPI]

首都圏開催移住相談会相談件数 H26:0件→〇〇件

[主な事業] 移住環境整備事業[先行型]

（相談機能の整備、移住セミナー等でのPR、移住ガイドブックの作成）

② 移住者の受け入れ体制整備

本市への移住希望者が、本市における住居、仕事、福祉等の状況をワンストップで把握できるよう、総合的な相談窓口を整備し、きめ細かな対応を行なうほか、関係団体等連携し受け入れ体制を構築します。また、住居の確保のサポートのため、物件の紹介や補修整備等の支援を行ないます。

[重要業績評価指標KPI]

移住相談件数 H26 件:一件/年→〇〇件/年

空き家を活用して移住した世帯数 H26:一世帯→〇〇世帯

空き家バンク登録者数 H26:一人→〇〇人

[主な事業] 空き家バンク事業

空き家改修支援事業（検討中）

移住定住支援事業[先行型]

- ① 起業・新商品開発等支援事業（起業支援事業費補助金）（再掲）
- ② 空き店舗流動化支援補助事業（再掲）
- ③ 就業資格取得支援事業（再掲）
- ④ 創業等サポート事業（再掲）

(イ)多様なニーズに対応した移住促進

移住して農業を行ないたい、教育・子育て環境、犯罪の少ない安全なまちで暮らしたいなど、多様な移住ニーズに対し、本市のもつ資源や強みを活かした移住対策を推進します。

[重要業績評価指標KPI]

新規就農者数 H26:11人/年→〇〇人/年

移住体験参加者数 H26:〇人/年→〇人/年

[主な事業] 地元で働こう新規就農支援モデル事業（再掲）
移住体験ツアー事業（検討中）
地域おこし協力隊事業（再掲）

(ウ)本市出身者のUターンの促進

本市出身の、現役世代や退職後のシニア世代が、ふるさと能代へ戻って暮らすことを促進するための取り組みを行います。

[重要業績評価指標KPI]

移住相談件数 H26:一件→〇〇件

[主な事業] Uターンふるさと移住事業（検討中）
（移住定住支援総合相談窓口、空き家バンク事業、空き家改修費補助金等の活用）

(2)若者の定住の促進

(ア)高校卒業者の定住及び大卒者等のUターンの促進

高校卒業、または県外の大学、専門学校等に進学した若者が、本市にUターンしやすいような環境整備や機会創出を図ります。

[重要業績評価指標KPI]

奨学生が償還時に能代山本地区に居住して減免希望を申請している人数
H26:5人→〇〇人

[主な事業] 奨学金返還金助成事業（検討中）
ふるさと人材育成・定住促進奨学金貸付事業（再掲）
地域雇用総合対策事業（再掲）
就業資格取得支援事業（再掲）
デュアルシステム事業（再掲）

(3)地元への愛着をはぐくむ

(ア)子どもたちによるふるさとの発見

豊かな自然に触れたり、地域性を生かした事業等を通し、児童の「郷土に対する愛情や誇り」を高め、地元への愛着を深めます。

[重要業績評価指標KPI]

子どもが地区でのびのびと育っていると思う市民の割合 H27:52.4%→〇〇%

[主な事業] ふるさと教育事業（再掲）
のしろDEマナブ_っ事業（再掲）
特色ある教育活動推進事業（再掲）
小学生、中学生向け広報発行の試行（検討中）

(イ)シティセールスによる市の魅力再発見

広報のしろのほか、様々な媒体により能代の魅力を発信し、能代市民が能代市の良さを感じ、愛着を持つよう取り組みます。

[重要業績評価指標KPI]

豊かな自然や特色ある郷土料理など、他に誇れる観光資源があると思う市民の割合
H27:40.8%→00%

米代川やきみまち阪、風の松原などの豊かな自然は、他に誇れると思う市民の割合
H27:64.7%→00%

市ホームページモバイルアクセス数 H26:161,011 件→00件

[主な事業] のしろシティセールス事業（市の魅力PR事業等）（検討中）

(ウ)特色あるまちづくり

バスケの街づくり、宇宙のまちづくり、恋文のまちづくり等、関係機関、団体等と連携しながら、市民と行政が一体となって、本市独自の特色あるまちづくりを進めます。

[重要業績評価指標KPI]

バスケの街を他に誇れる人 H27:39.8%→00%以上

のしろ銀河フェスティバル来場者数 H27:3,527 人→00人

[主な事業] バスケの街づくり推進事業
宇宙のまちづくり推進事業
恋文のまちづくり推進事業

▶基本目標4 新たな地域社会の形成

1 基本的な考え方（現状と課題）

○人口が減少していく中で、経済圏等を一にする山本郡3町との、より広域的な取り組みによる行政対応が求められます。また、地域コミュニティの維持を図るため、地域社会の基礎的単位である自治会、町内会の役割が一段と高まっているほか、市民主体のまちづくりの推進が今後の地域社会に重要なものと考えられます。

○整備されたインフラの老朽化が進んでいます。今後の人口減少等を踏まえ、そうした既存インフラについて、維持管理・更新等に係るトータルコストの縮減、平準化が求められています。

2 基本的方向

○人口が減少していく中、山本郡内の3町との連携による定住自立圏を形成し、より広域的な取り組みにより、定住人口の維持や地域の活性化を図ります。

○自治会・町内会を初め、地域活動や社会活動を行う団体等の活動を支援し、市民の主体的な地域づくりを促進します。また、若者、女性、高齢者等、年齢や性別に関係なく、地域社会の中で活躍できる環境整備に努め、地域コミュニティの維持、活性化を図ります。

○整備されたインフラの老朽化が進んでおり、市民の安全や利便性を確保しつつ、維持管理・更新等に係るトータルコストを縮減、平準化させるため、メンテナンスサイクルの構築や超寿命化計画の策定・推進等、計画的な維持管理、更新等を推進します。

3 数値目標

住みやすさの満足度：●%

4 具体的な施策と重要業績評価指標

(1) 広域的な視点での地域社会の形成

(ア) 能代山本地域の連携

経済圏域等を同じくする山本郡3町と連携し、より広域的なスケールで本地域のPRや活性化を図り、定住人口の維持につなげます。

[重要業績評価指標KPI]

能代市山本郡の総人口(年度末住基人口) H26:86,006人→〇〇人

[主な事業] 定住自立圏構想の推進

(2) 地域社会の維持・活性化

(ア) 地域コミュニティの維持

① 自治会等への支援

地域社会を形成する最小単位である自治会・町内会の活動や地域活動の拠点となる施設の整備・維持管理の支援を行ないます。また、地域住民の主体的な地域づくり活動を促進し、地域コミュニティの維持を図ります。

また、適切な空き家への対応や共助による除雪対応の促進により、地域の防災対応強化や安心して暮せる地域社会の形成を目指します。

[重要業績評価指標KPI]

公民館等利用者数 H26:116,029人→〇〇人

自治会・町内会数 H26:347→〇〇

[主な事業] 地域集会所建設費・修繕費補助事業
地域づくり支援事業
地域センター等管理運営事業
地域住民用小規模堆雪場事業

②地域づくりの促進

地域課題の解決のため、ビジネスの手法や地域資源を活用したまちづくりに取り組む団体等や各種のボランティアを行なう団体等を支援し、市民による地域づくりを促進します。

[重要業績評価指標KPI]

自治会、町内会やボランティア活動など市民活動に参加することを心がけている市民の割合 H27:34.7%→〇〇%

[主な事業] 市民まちづくり活動支援事業
地域力向上人づくり事業（検討中）
ボランティア養成等事業
市民活動支援センター運営事業

(イ)防災への対応強化

消防団の人員確保による機能維持や自主防災組織の設置数の増による災害対応の充実を図り、安心して暮らせる地域社会の形成を目指します。

[重要業績評価指標KPI]

消防団員充足率 H26:83.9%→〇〇%
自主防災組織数 H26:3 自治会→〇〇自治会

[主な事業] 地域防災力向上事業
消防団員の確保と活動しやすい環境づくり事業

(ウ)地域公共交通の維持・確保

高齢化が進む中で、路線バスや巡回バス、デマンド型乗り合いタクシー等、それぞれの地域の実情に応じた公共交通を提供し、日常生活の交通の足の確保に努めます。

[重要業績評価指標KPI]

路線バス等の利用者数 H25:340,709人→〇〇人
はまなす号利用者数 H26:40,414人→〇〇人
向能代・落合地区利用者数 H26:22,771人→〇〇人
巡回バスの1便平均利用者数 H26:13人→〇〇人

[主な事業] 地域公共交通活性化事業
生活バス路線等維持対策事業

(エ)若者、女性、高齢者の活躍支援

①若者の活躍支援

地域に愛着を持ち、地域の課題解決等に取り組む団体等の育成と、団体相互のネットワーク構築に取り組みます。

[重要業績評価指標KPI]

市民活動支援センター登録団体数 H25:57人→〇〇人

[主な事業] 市民活動支援センター運営事業（再掲）
市民まちづくり活動支援事業（再掲）
地域力向上人づくり事業（再掲）
地域おこし協力隊事業（再掲）

②女性が活躍できる環境づくり

女性が能力と個性を活かし地域や職場で活躍できる環境づくりを推進します。

[重要業績評価指標KPI]

「男は仕事、女は家庭」といった性別による固定した考え方には反対と思う
市民の割合 H27:71%→〇〇%

[主な事業] 男女共同参画推進事業

③健康で元気な高齢者の活躍促進

高齢者が、健康、元気でいられるよう、外出支援等により健康づくりを推進し、健康な高齢者の割合を増やします。また、高齢者の知識や経験が地域に還元されるとともに、高齢者が積極的に社会参画できる環境整備を行います。

[重要業績評価指標KPI]

シルバー人材センター会員数 H25:347人→〇〇人

高齢者の生きがいと健康づくり事業参加者 H26:3,889人→〇〇人

[主な事業] 元気・交流200円バス事業

シルバー人材センター支援事業

高齢者の健康意識向上事業

高齢者の生きがいと健康づくり事業 ほか各種事業

(オ)「小さな拠点」形成の研究

人口減少や高齢化に伴い、住民の生活に必要な生活サービス機能の低下が懸念される中、基幹的集落に機能・サービスを集約化し、周辺集落とのネットワークを持つ、いわゆる「小さな拠点」について研究し、地域社会の維持につなげます。

[重要業績評価指標KPI]

検討中

[主な事業] 「小さな拠点」形成の研究

(3)安全・安心な暮らしを守る環境づくり

(ア)既存インフラのマネジメント強化

高度経済成長期以降に集中的に整備されたインフラの老朽化が進んでおり、市民の安全を確保しつつ、維持管理・更新等に係るトータルコストを縮減、平準化させるため、メンテナンスサイクルの構築や長寿命化計画の策定・推進等、計画的な維持管理、更新等を推進します。

[重要業績評価指標KPI]

検討中

[主な事業] 公共施設等総合管理計画策定とマネジメント事業

公園施設長寿命化計画事業